



# 『越知のたから』 ～stage VI～

〈越知小学校 学校だより 2023年5月8日(月)〉 NO. 3



〈学校教育目標〉  
仁淀川のように清らかに  
横倉山のようにたくましく

## さわやかな青空のもと運動会の練習、いよいよ本番へ！

今年のゴールデンウィークは、雨の日が多く残念でしたが、今日は、昨日までの雨がうそのように青空が広がりました。今週末は、いよいよ大運動会です。朝から連休明けとは思えない元気な声や、体育館に着替えに行く児童の声で賑やかな朝を迎え、うれしく思ったことでした。

明日は、総合練習です。昨年度の3学期より、少しずつ取組種目や表現運動の練習をしてきました。特に表現運動では、「南中ソーラン」を6年生が5年生へ、「エイサー」を4年生が3年生へ、そして2年生は1年生へ「あいうえおんがく」のダンスを、それぞれ教えています。児童が中心となり、伝え合う越知小の伝統が引き継がれ、また、その年々の工夫が付け足されて、【リニューアル運動会】に向けて頑張っています。当日は、ぜひ、子どもたちの頑張りを応援していただきたいと思います。詳しくは、先日お配りしました文書でご確認ください。HPにもアップしております。

みんな  
頑張ってるねー



ぐんと伸びるとき  
少しずつ、  
手を放すとき

## ～一輪車の練習から感じたこと～

昼休みの運動場では、いま、4年生が一輪車の練習をしています。私も時々、手を取り一緒に練習をしています。私の手をぎゅっと握っていた子どもたちの手の力が、練習を重ねるうちにだんだんと軽くなります。その手応えに“あっ、もうすぐ乗れる！”と感じ、背中を押します。1メートル、2メートルと乗れるようになった時の子どもたちの笑顔は飛びきり素敵です！「やった、乗れた！進んだ！」との声。すると、友達が寄って来て、「手をつなごう」と声をかけます。ここからは、私の手を離れ、子どもたちの世界です。でも、時々、戻ってきて、「先生、見よってよ、肩かしてよ」と。私は、「うんうん、すごいね～、乗れ出したね～」と声援を送ります。

そんな時間は、まさに子育てと同じだなと感じます。どこまで手を握るのか、どこで、手を放し背中を押すのか、戻ってきた子どもになんと声をかけるのか……。でも、見守り続けるまなざしは、いくつになっても同じだなと感じた昼休みでした。



自立への一歩は、  
少しずつやってくる